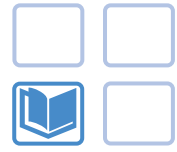


# 12-2 それはいつですか



活動

「とき」を使った文を理解する。  
「とき」を使って、文をつなぐ。

かたち



時間

せつめい編

文-40 とき

談話の技術

準備するもの

使うことば

きゃく きょうと てら み  
お客さん\*、(京都\*) お寺\*、見せる、  
かんが  
考える\*  
ちゃ だ  
お茶を出す

## 手 順

1. 学習者は、<モデルテキスト>(1)と(2)を読んで、それぞれ下の質問に母語で答える。  
 (1) へやをそうじするとき、お客さんはいるかどうか。  
 お茶を出すとき、お客さんはいるかどうか。  
 (2) 田中さんはどこで服を着たか。  
 どこで料理を食べたか。
2. <タスクシート>のa、bとア、イを1つずつ結んで意味のある文を作る。

## モデルテキスト

- (1) a. おきゃくさんが来る<sup>く</sup>とき、へやをそうじします。  
b. おきゃくさんが来た<sup>き</sup>とき、おちゃを出<sup>だ</sup>します。
- (2) a. 田中<sup>たなか</sup>さんは、パーティーに<sup>い</sup>行くとき、きれいなふくをきました。  
b. 田中<sup>たなか</sup>さんは、パーティーに<sup>い</sup>行ったとき、りょうりをたくさん<sup>た</sup>食べました。

## タスクシート

- (1) a. きょ<sup>ねん</sup>年、きょうとへ<sup>い</sup>行くとき  
b. きょ<sup>ねん</sup>年、きょうとへ<sup>い</sup>行ったとき  
ア) 新しい<sup>あた</sup>りょ<sup>こう</sup>行かばんを<sup>か</sup>買いました。  
イ) おてらの<sup>し</sup>ゃ<sup>しん</sup>をたくさん<sup>と</sup>りました。
- (2) a. 新しい<sup>あた</sup>ふくを<sup>か</sup>買うとき  
b. 新しい<sup>あた</sup>ふくを<sup>か</sup>買ったとき  
ア) 友だち<sup>とも</sup>に<sup>み</sup>見せます。  
イ) よく<sup>か</sup>んがえます。

こた  
< 答え >

(1) a- ア、b- イ (2) a- イ、b- ア

## バリエーション

- (1) 学習者がそれぞれ < モデルテキスト >  
(1) のような文を作り、交換して、後件<sup>こうけん</sup>  
の行動<sup>こうどう</sup>やできごとがいつ、どこであった<sup>かんが</sup>  
か考える。
- (2) < モデルテキスト > (1) の練習<sup>れんしゅう</sup>を、動<sup>どう</sup>  
詞<sup>し</sup>の形<sup>かたち</sup>を選<sup>えら</sup>ぶ問題<sup>もんだい</sup>に変<sup>か</sup>える。  
例) a. お客<sup>れい</sup>さんが<sup>きやく</sup>来<sup>く</sup>る / 来<sup>き</sup>たとき、  
へやをそうじします。